

【国際】

靖国参拝“私的”を強調 李登輝氏来日、中国は批判

2007年5月30日 20時15分

来日した台湾の李登輝前総統は30日、戦死した実兄が祭られている靖国神社を参拝したいとの意向を明らかにした。李氏は「兄に会いたい」という心情からの私的参拝であることを強調したが、実際に参拝すれば李氏来日で日本政府を批判する中国がさらに反発を強めそうだ。

李氏は同日午後、都内で記者団に対し「中国が靖国問題(の批判の矛先)をわたしに持ってくるのはおかしい。全然事情が違う」と指摘。ひそかに参拝したい考えとみられるが、事前に公言することは日本政府も知らされていなかったもようで、日台関係筋は李氏の動向をさらに注視する姿勢を示した。

中国政府の台湾事務弁公室は30日、李氏来日に関し「台湾独立勢力に活動の舞台を与えるべきでない」(李維一報道官)とあらためて日本を批判。しかし、李氏は今回の来日は「文化・学术交流と『奥の細道』探訪の旅」として政治目的はないことを強調し、「日本の政治家とは誰とも会わない」と述べた。(共同)



記者の質問に笑顔で答える台湾の李登輝前総統 = 30日午後、東京都江東区

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.